

エネルギー状況報告書

1 特定エネルギー供給事業者の概要

(1) 特定エネルギー供給事業者の氏名等

特定エネルギー供給事業者の氏名 (法人にあっては名称及び代表者の 氏名)	出光興産株式会社 代表取締役社長 木藤 俊一
特定エネルギー供給事業者の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在 地)	東京都千代田区大手町一丁目2番1号

(2) 事業の概要

発電事業の有無	☒ 有 ☐ 無	
都内供給区分	☒ 特別高压 ☒ 高压 ☒ 低压(電力) ☒ 低压(電灯)	
事業の概要 (発電事業がある場合は、発電 事業の概要も記載すること。)	事業者のHPアドレス	https://www.idemitsu.com/jp/index.html
	■経営統合 2019年7月1日より、昭和シェル石油株式会社は出光興産株式会社に事業承継を行いました。よって昭和シェル石油株式会社での電力事業は出光興産株式会社に引き継がれております。また、2023年度までは出光興産株式会社の子会社である出光グリーンパワー株式会社と2社で並行して事業を展開していましたが、2023年度末に同社は出光興産株式会社に事業承継を行いました。本計画書は出光興産株式会社(旧出光グリーンパワー株式会社を含まない)の状況に基づき記載しております。 ■小売電気事業 2008年から開始した高压電力販売に加え、2016年4月より電力小売り全面自由化に伴い家庭向け低压電力販売を系列給油所等で展開しています。 供給エリア:北海道、東北、東京、中部、北陸、関西、四国、中国、九州 ■発電事業 製油所及び化学工場の副産物を燃料とする「東亜石油水江発電所」、「北海道製油所」、「愛知製油所」、「徳山事業所」、バイオマスを燃料とする「京浜バイオマス発電所」、未利用熱水を利用した「滝上バイナリー発電所」、東京ガス株式会社との合弁事業として天然ガス火力発電所「扇島パワーステーション」などの自社(グループ)電源を有するほか、全国各地に複数の太陽光発電所を保有しており、持続可能かつ環境に優しい電力供給に取り組んでいます。	

(3) 担当部署

報告書の 担当部署	名称		電力・再生可能エネルギー事業部 事業企画課
	連絡先	電 話 番 号	03-6870-6584
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	GX-power-administration-counter01@idemitsu.com
公 表 の 担当部署	名称		電力・再生可能エネルギー事業部 事業企画課
	連絡先	電 話 番 号	03-6870-6584
		ファクシミリ番号	
		電子メールアドレス	GX-power-administration-counter01@idemitsu.com

第2号様式 その2

(4) エネルギー状況報告書の公表方法

公表期間		2024 年 07 月 31 日		～	2025 年 07 月 31 日	
公表方法	☐ ホームページで公表	アドレス:				
	☐ 窓口での閲覧	閲覧場所:				
		所在地:				
		閲覧可能時間				
	☐ 冊子(環境報告書等)	冊子名:				
		入手方法:				
	☒ その他	担当部署にて適宜開示します。				

2 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量
(単位 千t-CO₂)

項目	前々年度	前年度
排出量	75.77	132.53

3 特定エネルギーの供給に伴い排出された温室効果ガスの量(1kWh当たり)及びその抑制に係る措置の進捗状況
(単位 kg-CO₂/kWh) (単位 %)

項目	前々年度	前年度	把握率
全電源のCO ₂ 排出係数	0.190	0.606	96.41%
(火力発電のCO ₂ 排出係数)	0.409	0.247	
調整後CO ₂ 排出係数	0.367	0.967	

(排出係数の削減目標達成に向けた具体的な対策の取組実績及びその効果)

前年度排出係数を持たない事業者からの受電があるため、把握率は100%未満です。
天然ガスを燃料とする大型高効率の扇島パワーステーション、再生可能エネルギーを用いた京浜バイオマス発電所の高稼働によりCO2排出量低減を図っています。

4 再生可能エネルギーの供給の量の割合及びその拡大に係る措置の進捗状況

再生可能エネルギーを利用した発電による電気の供給の利用量の割合

項目	前々年度の実績		前年度の実績	
	利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
再生可能エネルギー	59,899	15.04%	35,614	16.29%
(FIT電気)	57,774	14.50%	31,254	14.30%

(再生可能エネルギーの具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

・バイオマスを燃料とする京浜バイオマス発電所を高稼働させることにより、利用量の増加に努めています。
・2022年12月より、バイオマスを燃料とする出光徳山バイオマス発電所の操業を開始します。

第2号様式 その3

5 その他地球温暖化の対策に関する事項の進捗状況

(1) 未利用エネルギー等を利用した発電による電気の供給に係る措置の進捗状況

前々年度の実績		前年度の実績	
利用量 (千kWh)	利用率 (%)	利用量 (千kWh)	利用率 (%)
0	0.00%	5,818	2.66%

(未利用エネルギー等の具体的な利用促進対策の取組実績、開発の実績等)

未利用エネルギー等による電力調達はありませんでした。

(2) 火力発電所における熱効率の向上に係る措置の進捗状況

・天然ガスを燃料とする扇島パワーステーションにおいて、経年劣化による効率低下を回復させるため、適切なメンテナンスを実施いたしました。

(3) 都内の電気需要者への地球温暖化対策の働きかけに係る措置の進捗状況

・CO2排出係数や電源構成を開示する等、情報提供を行っています。
・お客様の省エネルギー対策をサポートするため、小売電気事業においては需要家に対し過去やリアルタイムの消費電力量を提供できるウェブサイトを構築しています。

(4) その他の地球温暖化対策に係る措置の進捗状況

・当社、グループ製油所の熱交換器、廃熱回収ボイラー、排ガス再循環設備などへの設備投資および精製装置の運転の最適化を行うことで、省エネルギー対策を進めています。
・その他プラントでは、節電やピークシフト、ボイラー運転の最適化などを通じて、エネルギー使用量とCO2排出量の削減に取り組んでいます。
・自社グループの太陽電池工場では、生産効率の向上に加え、環境に優しい梱包部材を使用することで輸送効率の向上と環境負荷低減を実現しています。
・自社グループで製造する太陽電池パネルを、当社所有の給油所に設置を進め、照明などの電力を賄っています。また、新規出店や改造の際にはLED照明を採用し、節電効果を上げています。

6 メニュー別調整後CO₂排出係数等の値

項目	前々年度			前年度		
	調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)		調整後CO ₂ 排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	再エネ利用率・ 環境価値利用率(%)	
メニューA	-	-	-	-	-	-
メニューB	-	-	-	0.000	100.00%	100.00%
メニューC	-	-	-	-	-	-
メニューD	-	-	-	0.729	0.00%	0.00%
メニューE	-	-	-	-	-	-
メニューF	-	-	-	-	-	-
メニューG	-	-	-	-	-	-
メニューH	-	-	-	-	-	-
メニューI	-	-	-	-	-	-
メニューJ	-	-	-	-	-	-
メニューK	-	-	-	-	-	-

(メニュー別調整後CO₂排出係数等に係る取組実績)

需要家のニーズに応じて、CO₂排出量ゼロのメニューや大手電力会社よりもCO₂排出係数の低いメニューを提供し、CO₂の排出量削減に努めています。